

最高速 チューニングカー

走る場所がない
240km/hオーバーの猛者

HIC
82年2月

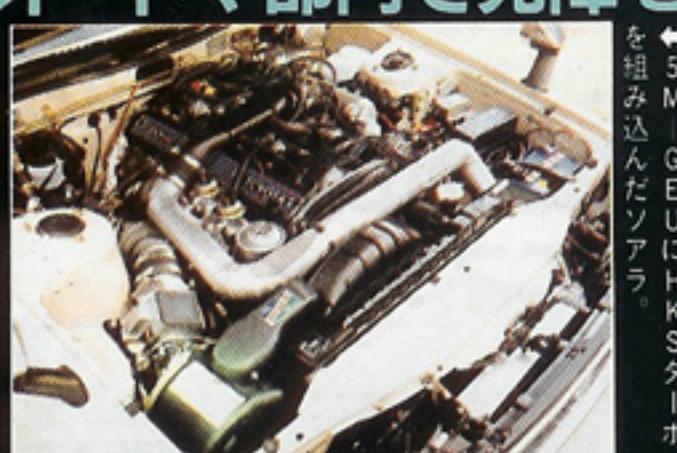
一 番

3位
HKS・ソアラ
2800GTターボ
(AT)
245.73km/h



AT仕様ながら240km/hオーバーの最高速を出すソアラ。

●チューニングカー最高速		
1位	雨宮RX-7・13Bターボ	254.42km/h
2位	チャレンジZ3ℓ	251.75km/h
3位	ソアラHKS・ターボAT	245.73km/h
4位	HKSレビン	243.24km/h
5位	久保・フェアレディZ	240.80km/h



→ メーター・パネルの下にブースト圧を調整するツマミをもつソアラターボ。



↑車高もグンと低くしたチャレンジZ。
→ 3ℓL型エンジンのチューニングカーとしては最高速を誇ったチャレンジZ。

オートマ部門で先陣を切るターボ5M-GEU

5M-GEUにHKSターボを組み込んだソアラ。

チャレンジZ・3ℓ

オーバーフェンダー・リヤスピノーラーといったオーソドックスな改造より、全高で80mmも低くしたルーフのカットが最大の特徴である。フロントガラスの中もその分狭くなってしまい、前面投影面積はかなり縮少している。この改造は最高速のチャレンジには大きく効果を発揮するはずで、エンジンパワーだけでなく空力を考慮した点で注目されるところだ。

エンジンは1型だが、排気量は300ccアップされ、最高出力は250PSを発揮するという。ファイナルは3.545と3.700が用意されたが、本誌テスト

ロータリーとターボのセッティングにかなり苦労したようで、この13Bターボも現状では開発途上の感もある。しかし、ターボにより中速トルクがかなり向上しており、ドライバーにリティでは13Bベリ仕様を上回るほどである。

リアのダンパーはヘルシコタインを装着したハードサスである。ロータリーとターボのセッティングにかなり苦労したようで、この13Bターボも現状では開発途上の感もある。しかし、ターボにより中速トルクがかなり向上しており、ドライバーにリティでは13Bベリ仕様を上回るほどである。

5M-GEUはトヨタの製のターボをドッキングさせたのが、この車である。

ノーマルエンジンでも170PSと国産最高のパワーを誇るソアラだけに強力なターボが追加されると、最高出力で250PSのまで一挙にパワーアップされる。

ブースト圧は0.8~1気圧まで上がり、アーミッシュションのゾーンといえど感じさせないすばらしい加速力を示す。

4000rpmからターボの底力が発揮されて、パワーの盛り上がりも劇的に上昇してゆく。テストドライバーはゼロから13秒78、最高速が245.73km/hと本誌テストカーの中では3番目に良い結果が出た。

ソアラ2800GT HKSターボ

トではハイギアを使用した。テスト結果はゼロから13.50秒、最高速が251.75km/hであった。ちなみに3.700を用いた結果は、約1回/ヒゼル最高速が高かつたという。

最高速時速6400rpmまで回っているが、3.545のギア比では6000rpmまで回り、この車に関する言及はハイギアード化は裏田の結果となつたわけだ。

チャレンジZ3.251.75km/h DOHC、ターボ

採用していればゼロから12秒以内で確実であろうし、最高速もさりに飛躍するはずだ。さすがに2.8mDOHCの底力ともいいくべきスーパーAE車であった。